

留学報告書

二年 徳永千穂
法文学部人文社会学科
グローバルスタディーズコース

1, 初めに

本報告書では2022年 8月から2022年 12月まで行ったアメリカ・ルイジアナ大学モンロー校での留学で学んだこととその経験を報告させていただきます。



2, 留学をしようと思った理由

私が留学しようと思った理由は三つあります。一つ目は中学生のころから異文化に興味があったからです。日本では常識であることから一步離れた目線で世界を見てみたいと思いました。二つ目は、世界の教育に興味を持っていたからです。当時、英語教育に興味があったことに関連してアメリカの教育を体感したり、ほかの国からの留学生から英語教育について聞いてみたいと思ったからです。三つめは、自己成長です。知らない土地や文化の中に身を置くことでどのように自分が変化、成長するのか興味がありました。

3, その大学を選んだ理由

私がアメリカの大学を希望した理由としては1、英語圏であること、2、多民族国家であること。また、アメリカの中でもルイジアナ大学モンロー校を選んだ理由としてアメリカの中でも特に独自の特色が強い州と聞き、私の留学する理由の一つである異文化の興味が満たすことに適していると考えたからです。

4-1、留学先で学んだこと①

私が留学で学んだことの一つは世界の教育についてです。私は授業の一つに教育の授業を取っていました。そこでは様々な背景や人種が違う生徒が入り混じった上でどのように授業を行っていくのかについて学びました。私が最も衝撃を受けたのは白人や黒人、ヒスパニック系、私のようなアジア人がいるなかで黒人差別の問題を取り扱ったことです。差別を受ける対象になってしまっている人種の生徒がいる中でその問題を取り扱うことは敏感なテーマとなると思いますがとても良い経験になりました。日本では扱いにくい問題は避けられることが多いように感じますが、学ばなければいけないことを学ぶことが大切だと思いました。また、教育を含めたすべての授業でそれぞれの生徒が自分なりの意見を強く持っている印象を受けました。教授が出した問に対して途切れることなく自分の意見を言う生徒が次々と発表します。そこでアメリカの学生と日本の学生の差を感じました。また、教育に関してインターナショナル生からも学びがありました。ネパールの友達に教育精度について尋ねると彼らは小学校のころから授業を英語で受けるそうです。私はこのことにとっても驚きました。そこで、アメリカで出会ったネパールをはじめナイジェリア、ベトナム、パキスタンなど様々な国出身の友達から google フォームを使ってアンケートを取りました。そのアンケート結果から一番印象に残ったこととして、毎日英語を学校で使う環境であっても9割ほどの学生が学校の英語教育だけでは不十分だと考えていたことです。そのアンケートから私は多くの学びを得ました。各国の教育制度をインターネットから知ることができるけれど、友達の口から聞くその教育に対する考え方は価値のあるものだと感じました。

4-2、留学で学んだこと②

私が留学について学んだことのもう一つは、宗教についてです。私が留学した先にはアメリカ人のほかにもネパール、チュニジア、ナイジェリアなど多くのインターナショナル生がいました。その多くの学生が信仰心を持っています。私は多くの日本人同様に宗教に属しながらも信仰心は強くありません。留学以前は宗教はどこか怖いものであるという印象を持っていました。しかし、アメリカで出会った人の多くは信仰心に強弱はあれど宗教が

生活の一部になっていました。たとえば、私のチュニジア出身の友達はムスリムで頭を覆うヒジャブをつけて、食事も豚は避けていました。ほかにも私自身アメリカ出身の友達に連れられて多くの教会に行きました。そこにはお年寄りから夫婦、赤ちゃんまで幅広い年齢層の人がいて、毎週のように教会に通いキリストの教えを全うしていました。私が信仰心をあまり持っていないことは留学後も変わりませんが、そのこと自体も宗教に対する考え方の一つなのだと自分の考え方を捉えなおしました。



5, 留学を経た自分の変化

実のところ留学を終えた直後私は自分の留学前後の変化を感じることができずとても焦っていました。多くの経験や知識を得ることはできたが、それらが私自身の変化や成長につながっているのか、留学の目標の一つであった自己の成長が達成できなかったのではないかと心配していました。しかし、日本に帰り、多くの人と再会する中自分の変化に関する言葉を多くもらうようになりました。明るくなった、やコミュニケーション能力が上がった、大人になったと言ってもらえました。これは私が一番を驚いたことです。自分の実感としては自分にそのような変化が起きたように気づけていませんでした。留學生活の中で慣れない環境で一人で過ごした経験や人間関係を一から築き上げた経験、英語のスキルが伸びたことなどから自信が少しずつついていったのだと思います。また、日本に帰ってから留学前の自分と留学後の自分の考え方が変わっているように感じる場面が何度かありました。この状態を維持するだけでなくさらに伸ばしていきたいと思います。

6, 留学先で楽しかったこと、つらかったこと

楽しかったことは冬休みに入り 20 日間ほど友達と旅行をしたことです。テキサスやカリフォルニア、ラスベガスなど州によって全く違う様子はとても楽しかったです。いままでない経験ばかりだったのでとても新鮮でした。

つらかったことは友達との別れです。特にチュニジア出身の女の子との別れがつかうたです。彼女はお別れを言うタイミングがないまま母国に帰ってしまったのでとても悲しかったです。彼女とはいまも電話をしたりしているのでまた会える機会があることを願っています。

7. 留学を考える人に向けて

留学を考えると不安に思う方が大半だと思います。何かに挑戦する前は恐れがあります。お金や時間を犠牲にしてまですべきなのだろうか、英語力がこの程度で生活できるのだろうかと私も悩みました。そんな私が留学する決め手になったのは後悔したくないという思いの強さでした。みんなが留学すべきだとは思いません。留学に使う時間やお金をほかの価値あると思うことに使うのも良いと思います。それをしなかったときの後悔と代償を天秤にかけて決断するのがベストだと思います。留学に限らず何事もやってみないとわからないし、やってみてその決断が正解だったといえるように行動すべきだというのがいまの私の考えです。私はまだ至らぬところの多い未熟者ですが、この考えのもとこれからも選択し続けたいと思います。

